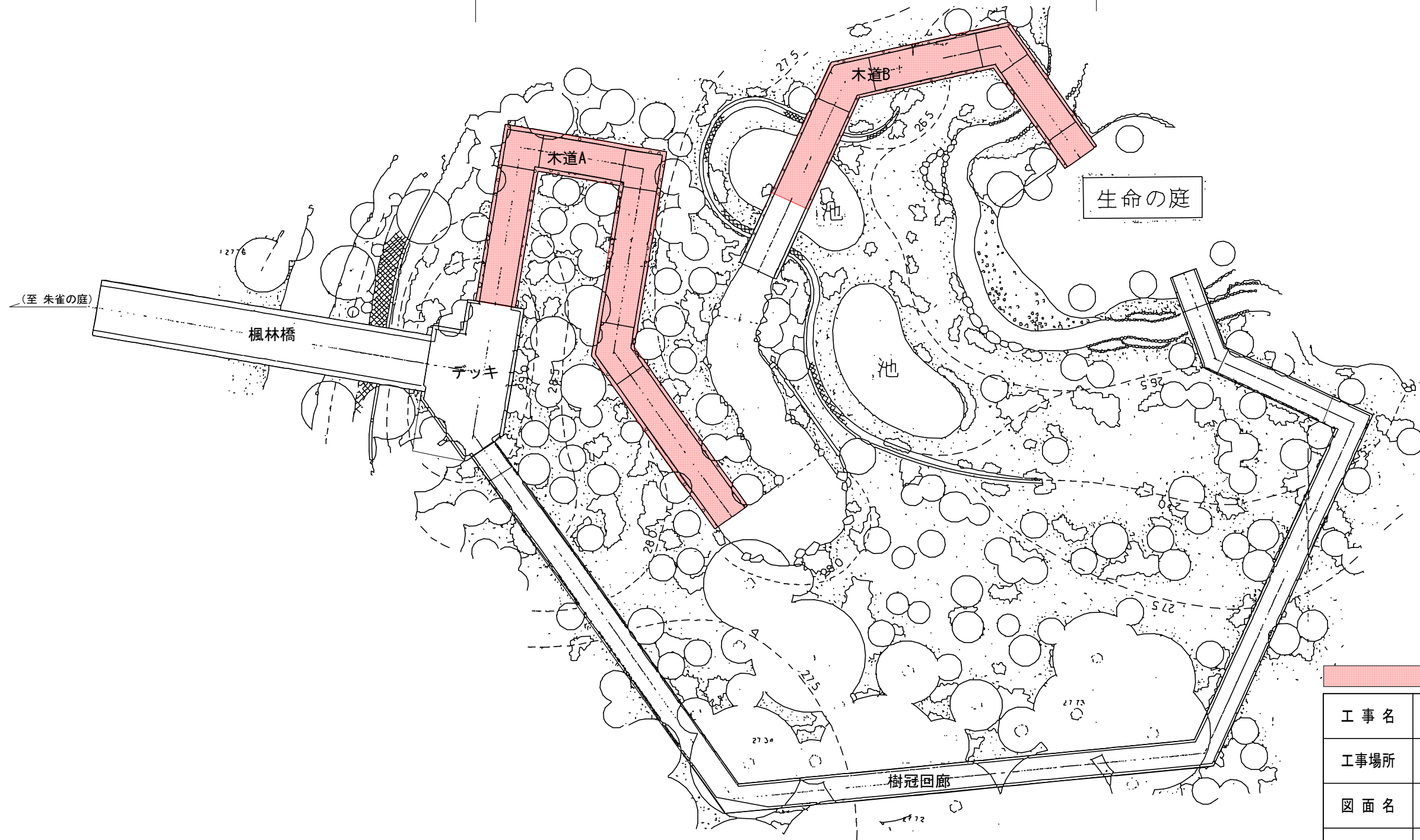


平面図 1

(いのちの森：木道A、B)

施工延長：61.5m

デッキ工：床板設置 1 L=62 m、端部キャップ設置 N=820個、根太設置 1 N=4本、根太設置 2 N=13本、
根太設置 3 N=57本、根太設置4 N=19本、根太端部加工 N=179箇所、高欄脱着 N=30箇所
基礎ブロック設置 1 N=14個、基礎ブロック設置 2 N=20個



梅小路公園
いのちの森



本工事施工箇所

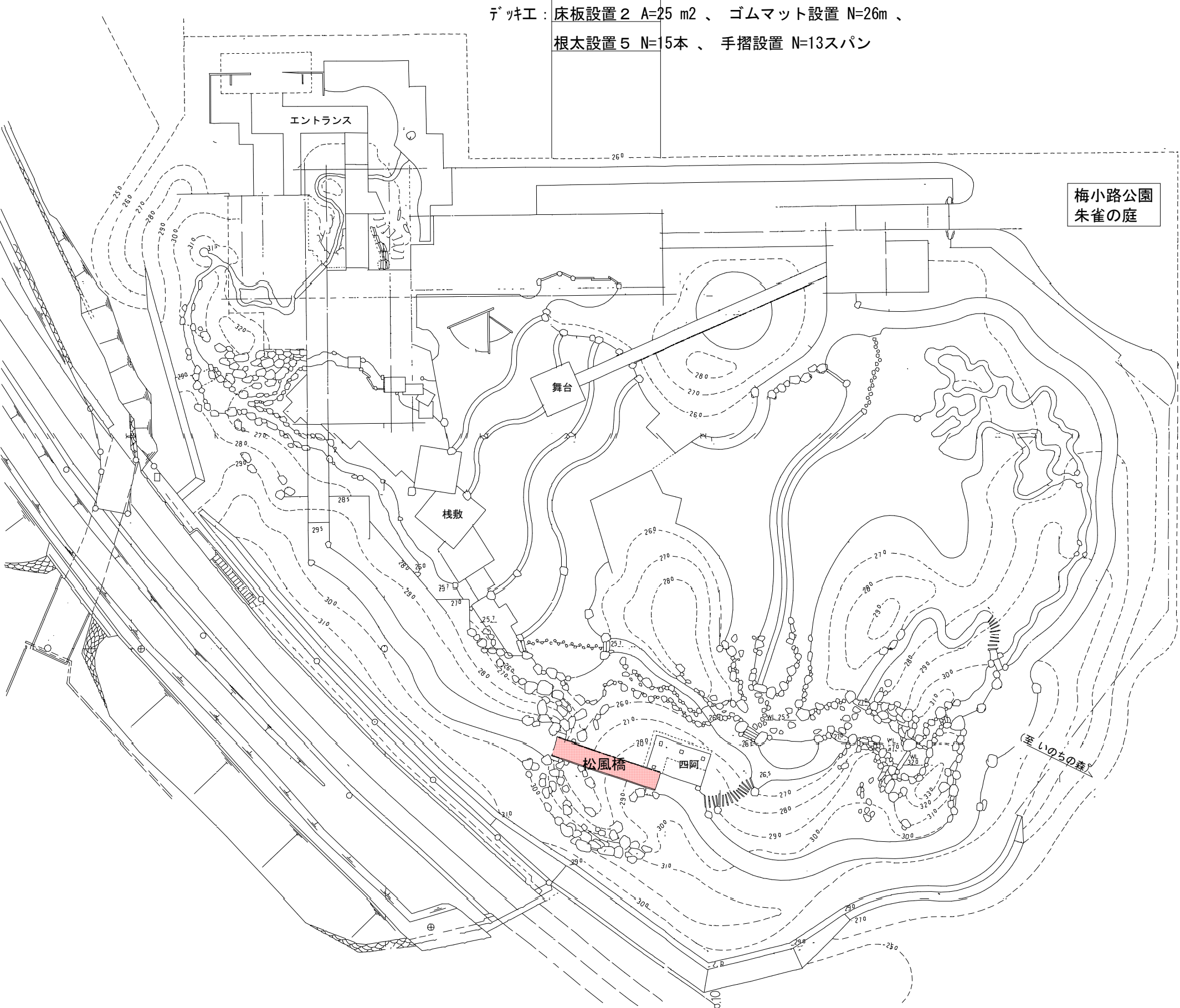
工 事 名	梅小路公園施設修繕工事		
工事場所	京都市下京区観喜寺町 地内		
図 面 名	平面図 1		
事業年度	令和 7 年度		
縮 尺	1 / 2 5 0	図面番号	1 / 8
京都市建設局みどり政策推進室			

平面図 2

(朱雀の庭：松風橋)

施工延長：13.0m

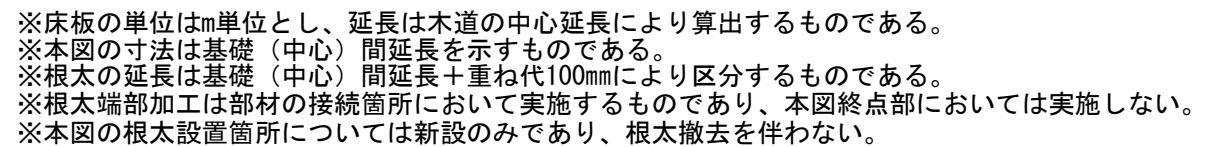
デッキ工：床板設置 2 A=25 m²、ゴムマット設置 N=26m、
根太設置 5 N=15本、手摺設置 N=13スパン



梅小路公園
朱雀の庭

本工事施工箇所			
工事名	梅小路公園施設修繕工事		
工事場所	京都市下京区観喜寺町 地内		
図面名	平面図 2		
事業年度	令和 7 年度		
縮 尺	1 / 2 5 0	図面番号	2 / 8
京都市建設局みどり政策推進室			

(床板撤去 1、床板設置 1、根太設置 1 ~ 4)

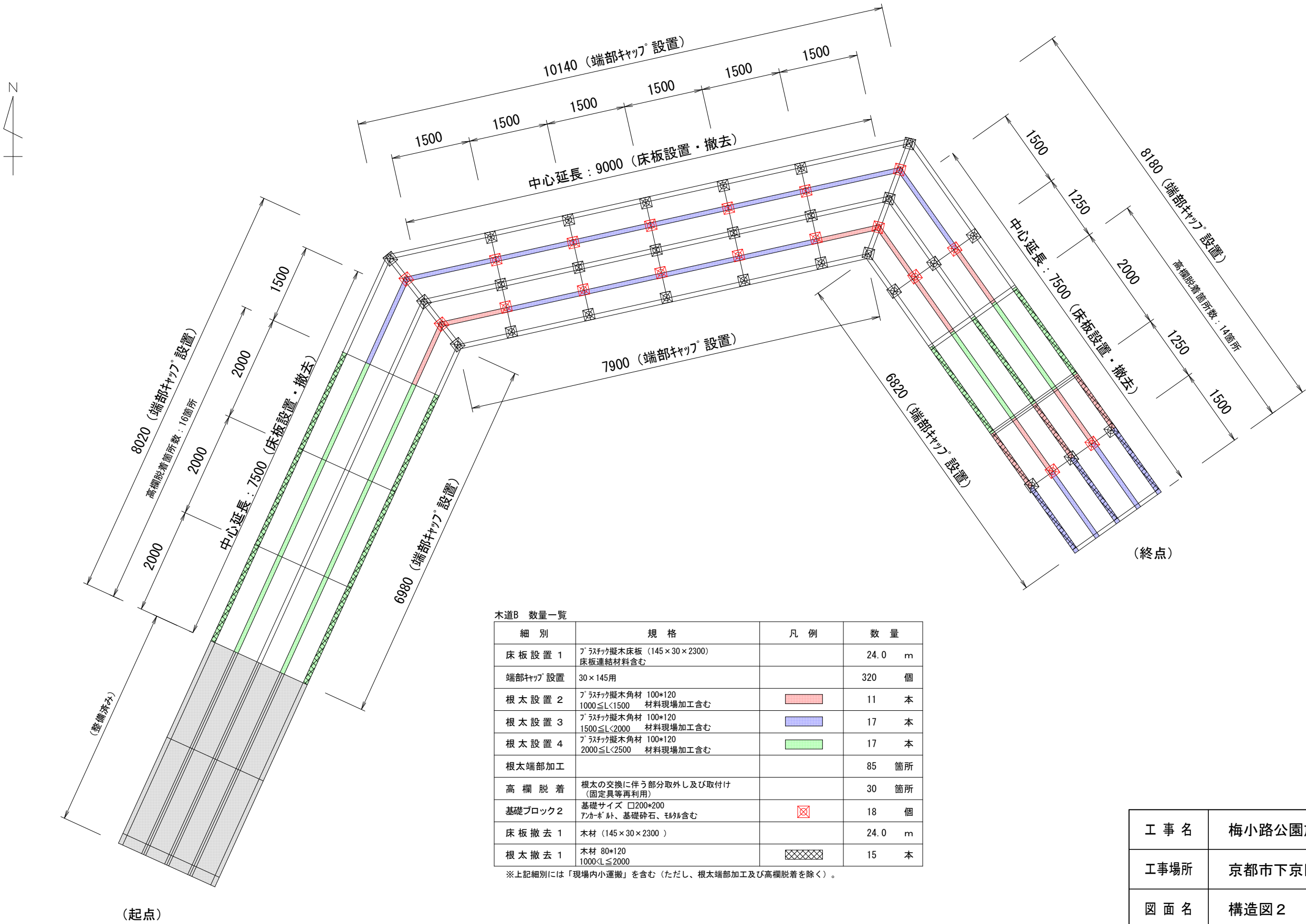


細 別	規 格	凡 例	数 量
床 板 設 置 1	ﾌﾞﾗｽﾀｯｸ擬木床板 (145×30×2300) 材料加工, 床板連結材料含む		37.5 m
端部ｷｯﾌﾟ 設置	30×145用		500 個
根 太 設 置 1	ﾌﾞﾗｽﾀｯｸ擬木角材 100*120 500≦L<1000 材料現場加工含む		4 本
根 太 設 置 2	ﾌﾞﾗｽﾀｯｸ擬木角材 100*120 1000≦L<1500 材料現場加工含む		2 本
根 太 設 置 3	ﾌﾞﾗｽﾀｯｸ擬木角材 100*120 1500≦L<2000 材料現場加工含む		40 本
根 太 設 置 4	ﾌﾞﾗｽﾀｯｸ擬木角材 100*120 2000≦L<2500 材料現場加工含む		2 本
根太端部加工			94 箇所
基礎ブロック 1	基礎サイズ □200×450 ﾌﾝｶｰﾎﾞｰﾄﾞ、基礎砕石、ﾓﾙﾄﾙ含む		14 個
基礎ブロック 2	基礎サイズ □200×200 ﾌﾝｶｰﾎﾞｰﾄﾞ、基礎砕石、ﾓﾙﾄﾙ含む		2 個
床 板 撤 去 1	木材 (145×30×2300)		37.5 m

※上記細別には「現場内小運搬」を含む（ただし、根太端部加工を除く）。

工 事 名	梅小路公園施設修繕工事		
工事場所	京都市下京区観喜寺町 地内		
図 面 名	構造図 1		
事業年度	令和 7 年度		
縮 尺	1 / 7 5	図面番号	3 / 8
京都市建設局みどり政策推進室			

木道B (床板撤去 1、根太撤去 1、床板設置 1、根太設置 1～4)



木道B 数量一覧			
細 別	規 格	凡 例	数 量
床 板 設 置 1	ﾌﾞﾗｽﾁｬｷ擬木床板 (145×30×2300) 床板連結材料含む		24.0 m
端部キャップ 設置	30×145用		320 個
根 太 設 置 2	ﾌﾞﾗｽﾁｬｷ擬木角材 100×120 1000≦L<1500 材料現場加工含む		11 本
根 太 設 置 3	ﾌﾞﾗｽﾁｬｷ擬木角材 100×120 1500≦L<2000 材料現場加工含む		17 本
根 太 設 置 4	ﾌﾞﾗｽﾁｬｷ擬木角材 100×120 2000≦L<2500 材料現場加工含む		17 本
根太端部加工			85 箇所
高 欄 脱 着	根太の交換に伴う部分取外し及び取付け (固定具等再利用)		30 箇所
基礎ブロック2	基礎サイズ 口200×200 ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ、基礎砕石、ｵｰﾙﾙ含む		18 個
床 板 撤 去 1	木材 (145×30×2300)		24.0 m
根 太 撤 去 1	木材 80×120 1000<L≦2000		15 本

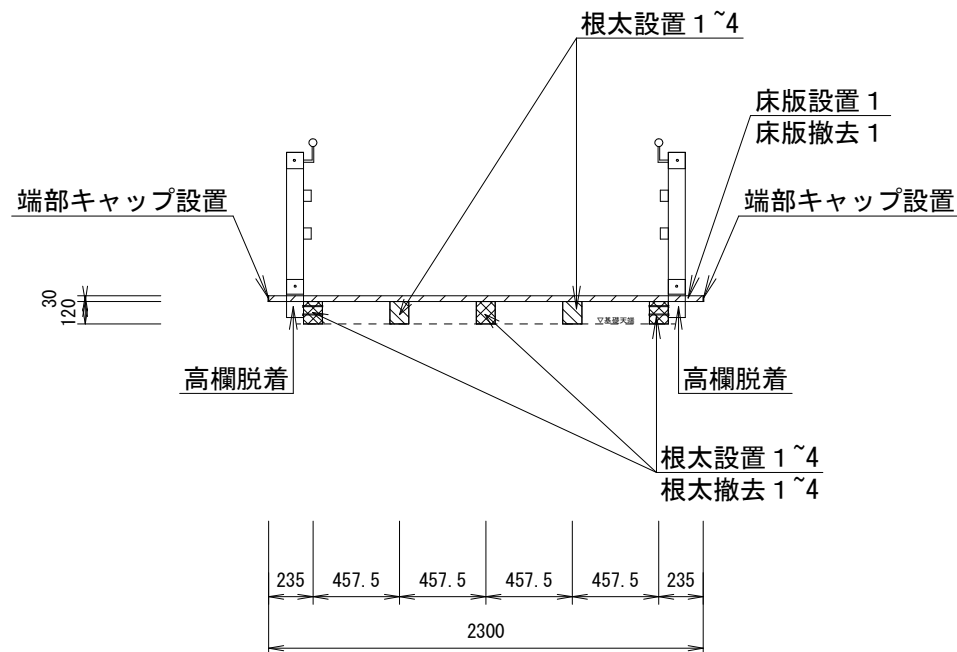
※上記細別には「現場内小運搬」を含む（ただし、根太端部加工及び高欄脱着を除く）。

工 事 名	梅小路公園施設修繕工事		
工事場所	京都市下京区観喜寺町 地内		
図 面 名	構造図 2		
事業年度	令和 7 年度		
縮 尺	1 / 7 5	図面番号	4 / 8
京都市建設局みどり政策推進室			

※床板設置及び撤去の単位はm単位とし、延長は木道の中心延長により算出するものである。
※根太の延長は基礎（中心）間延長＋重ね代100mmにより区分するものである。
※本図の根太撤去作業は、設置する根太と同規格の材を撤去するものである。
※根太端部加工は部材の接続箇所において実施するものであり、本図終点部においては実施しない。
※高欄脱着は高欄が取り付けられている根太を交換する際に実施。

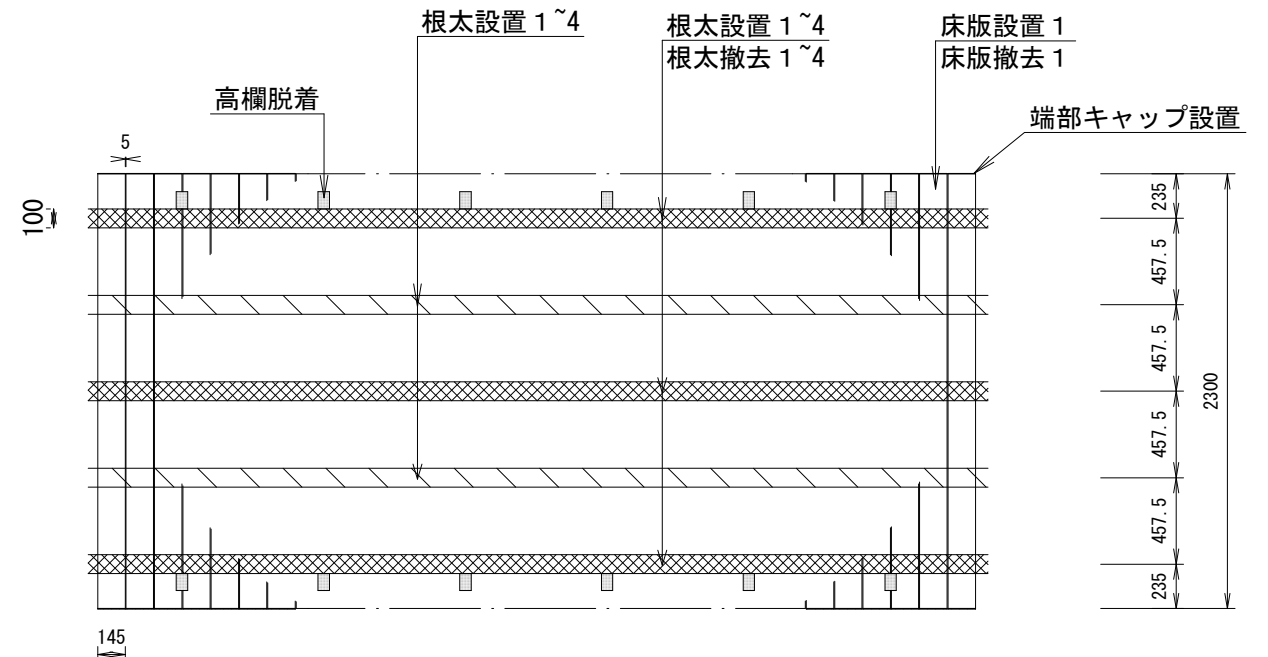
木道A、B (床板撤去 1、根太撤去 1、床板設置 1、根太設置 1～4)

【標準断面図】 S=1/40



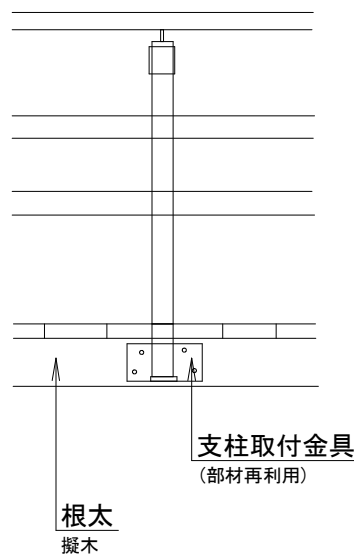
※高欄脱着は、根太の撤去を実施する箇所でのみ実施するものである。
※根太は部材同士の間隔が500mmを超えてはならない。

【標準平面図】 S=1/40



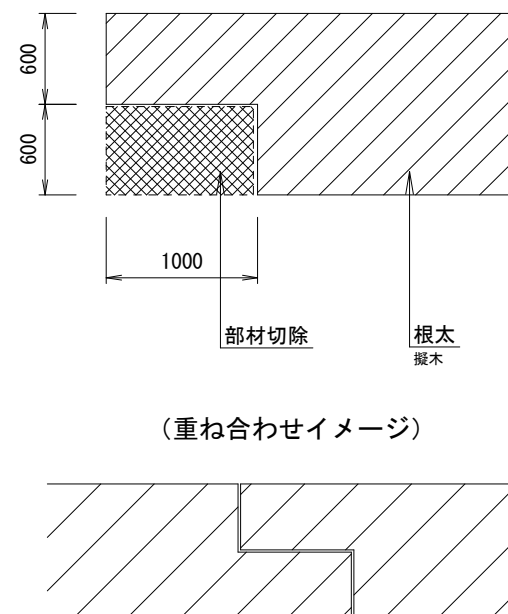
※床板繋ぎ部の間隔は5mmとする。
 ※基礎ブロック(中心)の設置間隔(縦断方向)は2000mmを超えないよう設置すること。
 ※補修既済部分と比較し、色調及び見た目に違いが生じないよう部材を選定及び設置すること。
 ※根太の設置及び撤去については、構造図(1)及び(2)に示す箇所のみで実施すること。

高欄脱着
【正面図(参考図)】 NS



※高欄脱着は支柱取付金具の取外し及び取付け作業とする。

根太端部加工
【側面図(参考図)】 NS



※サイズは現場条件に合わせて調整すること。

材料表【床板設置1】 100m当り

名 称	規 格	単位	数量
プラスチック擬木床板	145×30×2300	枚	666.7
床板連結材料	(床板1枚当り5個)	個	3333.5

- ・ プラスチック擬木床板は、プレプラス(株)製品(プレデッキ(ダークウッド))又は同等品以上とする。
- ・ 床板の連結及び根太との結合方法は、プレプラス(株)製品の床板連結材料(プレクリップ及びプレトリップ用特殊ビス)の使用を想定している。

材料表【根太設置 1 ～ 4】 10本当り

名 称	規 格	単位	数量
プラスチック擬木角材	100×120	本	10

- ・プラスチック擬木角材は、川瀬産業(株)製品(リプラギ)又は同等品以上とする。

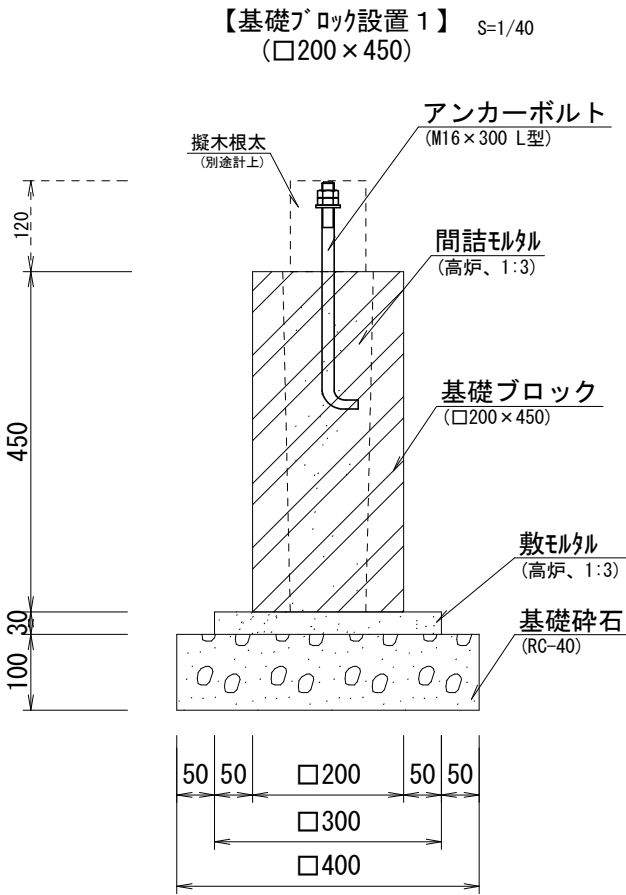
根太規格表

名 称	規 格
根本設置 1	100×120 500≤L<1000
根本設置 2	100×120 1000≤L<1500
根本設置 3	100×120 1500≤L<2000
根本設置 4	100×120 2000≤L<2500

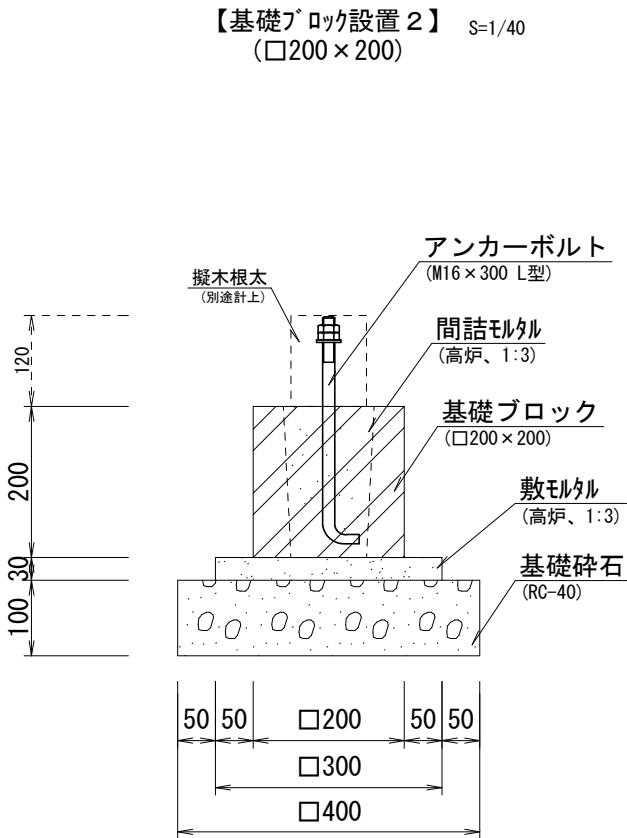
材料表【端部キャップ設置】 10個当り

名 称	規 格	単位	数量
端部キャップ	30×145用	個	10

工 事 名	梅小路公園施設修繕工事		
工事場所	京都市下京区観喜寺町 地内		
図 面 名	構造図 3		
事業年度	令和 7 年度		
縮 尺	図示	図面番号	5 / 8
京都市建設局みどり政策推進室			



材料表 【基礎ブロック設置 1】 10個当り				
名 称	規 格	単位	数量	備 考
基礎ブロック	□200×450	個	10	
アンカーボルト	M16×300 L型	本	10	
基礎碎石	RC-40	m3	0.16	t=100、10個当り1.6m2
間詰モルタル	高炉、1:3	m3	0.055	
敷モルタル	高炉、1:3	m3	0.027	

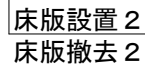
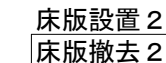


材料表 【基礎ブロック設置 2】 10個当り				
名 称	規 格	単位	数量	備 考
基礎ブロック	□200×200	個	10	
アンカーボルト	M16×300 L型	本	10	
基礎碎石	RC-40	m3	0.16	t=100、10個当り1.6m2
間詰モルタル	高炉、1:3	m3	0.024	
敷モルタル	高炉、1:3	m3	0.027	

工 事 名	梅小路公園施設修繕工事		
工事場所	京都市下京区観喜寺町 地内		
図 面 名	構造図 4		
事業年度	令和 7 年度		
縮 尺	1 / 4 0	図面番号	6 / 8
京都市建設局みどり政策推進室			

(床板撤去 2、根太撤去 2、床板設置 2、根太設置 5)

S=1/40


$$S=1/40$$


- ## ゴムマット設置

10m²当り

○床板設置２で使用する木材はウリン材とし、表面には滑り止めを目的とした荒らし加工を施すこと。
○木材は（一般社団法人）日本公園施設業協会の総合賠償責任保険加入品とする。

10本当り

○根太設置 5 で使用する木材は国産杉材とし、死節があってはならない。
○杉材は水溶性防腐剤加圧注入品とし、加圧注入方法はJIS A 9002によるものとする。
また、使用する水溶性防腐剤は株式会社サイエンス社製 ペンタキュア EC030(屋外用・無色)又は同等品以上とする。
○木材は(一般社団法人)日本公園施設業協会の総合賠償責任保険加入品とする。

10m当り

※本図の撤去作業は、設置する材と同規格のものを撤去するものである。

松風橋 数量一覧

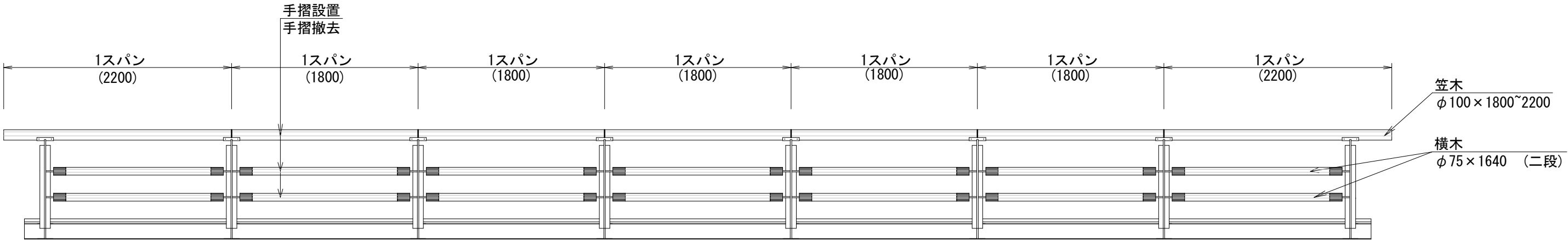
※上記細別には全て「現場内小運搬」を含む。

工 事 名	梅小路公園施設修繕工事		
工事場所	京都市下京区観喜寺町 地内		
図 面 名	構造図 5		
事業年度	令和 7 年度		
縮 尺	1 / 4 0	図面番号	7 / 8
京都市建設局みどり政策推進室			

松風橋（手摺設置、手摺撤去）

【側面図】 S=1/40

（視点：南から北向き）



※松風橋の高欄は南側=7スパン、北側=6スパンの計13スパン。
※1スパン当り、笠木1本、横木2本を計上するものである。
※笠木延長の異なる端部についても1スパンとして計上。
※笠木及び横木は、既存の固定器具を用いて固定すること。

松風橋 数量一覧

細 別	規 格	数 量
手 摺 設 置	1スパン当り 笠木：φ100×1本、横木：φ75×2本	13 スパン
手 摺 撤 去	1スパン当り 笠木：φ100×1本、横木：φ75×2本	13 スパン

※上記細別には全て「現場内小運搬」を含む。

材料表【手摺設置】

		1スパン当り	
名 称	規 格	単 位	数 量
笠木	水溶性防腐材加圧注入品 杉丸太（φ100×1800~2200）	本	1
横木	水溶性防腐材加圧注入品 杉丸太（φ75×1640）	本	2

○木材は国産杉材とし、死節があってはならない。
○笠木の端部はR面取を行なうこと。
○杉材は水溶性防腐材加圧注入品とし、加圧注入方法はJIS A 9002によるものとする。
また、使用する水溶性防腐剤は株式会社ザイエンス社製 ペンタキュアEC030（屋外用・木材表面保護塗料塗布）又は同等品以上とする。
○笠木及び横木の塗料色は、新たに設置する松風橋の床板材の色調に近いものとする。
○木材は（一般社団法人）日本公園施設業協会の総合賠償責任保険加入品とする。

※本図の撤去作業は、設置する材と同規格のものを撤去するものである。

工 事 名	梅小路公園施設修繕工事		
工事場所	京都市下京区観喜寺町 地内		
図 面 名	構造図 6		
事業年度	令和 7 年度		
縮 尺	1 ／ 4 0	図面番号	8 ／ 8
京都市建設局みどり政策推進室			